

# かわにし

平成30年  
2018年  
5月

## 市議会だより No.217

<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

市花りんどう



妙見の森ケーブル黒川駅

### 3月定例会号 もくじ

平成30年度各会計予算案など審議 ..... 2

#### 常任委員会報告

総務生活常任委員会 ..... 3

厚生文教常任委員会 ..... 4

建設公企常任委員会 ..... 5

審議結果等一覧・賛否の状況 ..... 6

#### 予算委員会報告

一般会計 ..... 8

特別会計 ..... 10

公営企業会計 ..... 11

総括質問 ..... 12

一般質問 ..... 14

委員会視察報告 ..... 18



# 平成30年度各会計予算案など審議

## 市立川西病院の指定管理者の指定に関する議案を可決

平成30年第1回定例市議会は、2月16日に開会し、3月26日に閉会しました。

招集日には、市長から、新年度の市政運営に対する所信表明と予算の大纲に関する施政方針演説が行われ、一般会計をはじめとする10会計、総額1094億2446万円の予算案が提案されました。

これに対して、各会派代表者7名による「総括質問」が行われたほか、予算審査特別委員会では、事業の詳細や費用計上の妥当性について、活発な質疑が行われるなど、慎重な審査を経た上で、最終日には全ての予算案を原案どおり可決しました。

また、今期定例会では、市立川西病院の指定管理者を民間医療法人に指定する議案についても提案され、活発な議論が交わされました。

これは、市が公表した「(仮称)川西市立総合医療センター構想(案)」に基づくもので、公設民営の拠点病院をキセラ川西内に整備するとともに、現在の場所に診療所を設置する

内容となっています。この構想案に対しては、説明と理解が不十分であると感じる市民や北部地域の医療提供体制に不安を抱く市民から、議案や構想案の白紙撤回を求める請願書等が議会へ寄せられていました。

議案審査を付託された常任委員会では、多数の傍聴者が見守る中、市の方針や進め方に対して質疑・意見が相次いだほか、最終日の本会議では反対・賛成の議員がそれぞれ討論を行いました。採決結果は賛成者多数により原案のとおり可決となりましたが、議案に対する賛否は異なっても、市民の健康や生命を守るといふ願いは、一致しています。より良い医療提供体制の構築に向けて、今後も議会として市へ積極的に意見を発信していきます。

以上に加え、本会議では13人の議員が行政全般に関して「一般質問」を行ったほか、「障がい福祉施策に関する請願書」外1件を全会一致で採択するなど、今期定例会の39日間に及び会期を終えました。

### 議会の活動状況

1月	2月	3月	4月
25日 ○議会運営委員会	5日 ○市立病院整備調査特別委員会 行政視察(山梨県上野原市)	1日 ○総務生活常任委員会 ○総務生活常任委員協議会	19日 ○議員協議会 ○議会運営委員会
26日 ○市立病院整備調査特別委員会	○飛行場対策周辺整備調査特別委員会 行政視察(成田国際空港株式会社、成田市、成田空港周辺地域共生財団)	2日 ○厚生文教常任委員会 ○厚生文教常任委員協議会	23日 ○議員協議会 ○建設公企常任委員協議会
30日 ○議会運営委員会	14日 ○市立病院整備調査特別委員会	○厚生文教常任委員協議会	26日 ○第1回市議会定例会(最終日) ○議員協議会
31日 ○厚生文教常任委員協議会	15日 ○議会運営委員会	5日 ○建設公企常任委員会 ○建設公企常任委員協議会	○議会協議会 ○議会運営委員会
	22日 ○議会運営委員会	6日 ○一般会計予算審査特別委員会	○厚生文教常任委員会 ○建設公企常任委員会
	23日 ○第1回市議会定例会(第2日)	7日 ○一般会計予算審査特別委員会	
	26日 ○第1回市議会定例会(第3日)	8日 ○一般会計予算審査特別委員会	2日 ○総務生活常任委員会
	27日 ○第1回市議会定例会(第4日)	12日 ○特別会計・公営企業会計 予算審査特別委員会	16日 ○議会運営委員会
	28日 ○第1回市議会定例会(第5日)	13日 ○特別会計・公営企業会計 予算審査特別委員会	23日 ○広報委員会

## 常任委員会報告

### 総務生活常任委員会

委員(委員長＝○ 副委員長＝○)  
○多久和桂子 ○北野 紀子  
吉富 幸夫 森本 猛史 西山 博太  
福西 勝 大矢根秀明 岡 留美

川西市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、一般職の職員の給与と体系の適正化等を図ろうとするもので、給料表の改廃を行うほか、住居手当の見直しや、平成30年4月から5年間課長補佐級以上の職員の給料削減等を行うとするものである。

質問 29年度のラスパレス指数は100.8であるが、30年度の見込みについて伺いたい。

答弁 4月1日時点における国のデータが把握できないため指数の算出はできないが、来年度予算は給料の独自力アップを盛り込んでおり、一定の抑制効果はあると見込んでいる。

### 付帯決議(要旨)

一般的に労働条件の変更等は、合理的な内容かつ労使対等の立場で行われるべきであり、これらを念頭に、地方自治体職員についても、社会情勢等の変化に応じて適正化を図るのが妥当である。

本案では、一定の経過措置が設けられるものの給与等の引き下げが含まれ、職員の生活に与える影響は少なくないと考えられるため、市当局は十分な説明により職員の理解を得ることが重要である。

以上を踏まえ、職員の適切な労働環境を確保することにより健康で高い勤労意欲を維持し、これが住民福祉の向上に寄与するよう、特段の配慮を強く求める。

反対意見 職員は、昨今の定数削減で過重な負担を強いられており、その上、本案によって経済的な負担が増すことで、士気の低下が懸念される。住民福祉の向上という公務員本来の役割に影響を及ぼしかねないため、反対する。

川西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令」の一部を改正する政令の制定に伴い、非常勤消防団員等に係る損害補償の算定の基礎となる額の加算額を変更するため、条例の一部を改正しようとするものである。



消防出初式での消防団員

平成29年度川西市一般会計補正予算(第6回)〈分割付託〉

質問 今回、ふるさとづくり寄附金を1400万円追加しようとしているが、返礼品の費用増加見込みのほか、その選定方法について伺いたい。

答弁 返礼品は、市内の応援事業者を公募した上で提供している。経費は送料を含め寄附金の4割を目安としているため、今回増額する金額の4割程度と見込んでいる。

反対意見 本市では厳しい財政状況の中、市債6億7460万円を追加し、幼保一体化施設の整備を推進しようとしているが、既存園舎を改修等により活用せず、多額の費用を投じ新築していく市の姿勢は理解しにくく、本案に反対する。

用語解説 ラスパイレス指数 全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。



## 厚生文教常任委員会

<b>委員</b> （委員長＝〇 副委員長＝〇）	
〇平岡 謙	〇宮坂満貴子 鈴木 光義
加藤 仁哉 黒田 美智	斯波 康晴
津田加代子 小山 敏明	上田 弘文

### 川西市国民健康保険条例及び川西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国民健康保険制度改革により、兵庫県が責任主体として市町とともに国民健康保険制度を運営するため、県に事業運営に係る協議会を設置するほか、市から県に支払う国民健康保険事業費納付金が新設されることに伴い、所要の改正を行うこととするものである。

**質問** 県に支払う納付金が不足する場合、各自治体とも財政状況が厳しいことから、保険税額の引き上げが懸念される。激変緩和措置の取り扱いを含めて、今後の対応について市の考え方を伺いたい。

**答弁** 現在示されている仕組みとしては、納付金に対して徴収した保険税等が不足する場合には、県で設置される財政安定化基金から、交付または貸付を受けることとなり、貸付を受けた場合は、後

年度に返済することとなるため、市として保険税額の見直しを行う可能性はある。

また、今回の制度改革に伴い、国において保険税負担の激変緩和措置が講じられ、これに基づき県で具体的な取り扱いを決定しているが、県では、3年後を目途として、この措置の在り方を見直すとの方針が示されているため、これを踏まえて市としても対応していきたい。

さらに、今回、市においても制度の安定運営を目的として基金を設置しており、将来的には、これも活用しながら、保険税負担の激変緩和を図っていきたいと考えている。

**反対意見** 国保制度の構造的な課題が解決されないまま、新年度から都道府県を責任主体とする制度改革が開始されようとしているが、国は激変緩和措置の対応にとどまっていることから、本案には賛成できない。

### 川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、介護サービス事業者の指定等の審査に係る手数料を新たに設けるため、条例の一部を改正しようとするものである。

**質問** 受益者負担の考え方に基づき、事業者が市に指定や更新を申請する際に手数料を徴収しよう

としているが、これにより事業者が享受する利益とは何か、市の考え方を伺いたい。

**答弁** 事業者は、市に申請し、新規指定や更新を受けることで介護保険制度に基づく事業運営が可能となるため、これが特定の者が享受するサービスに当たるという考え方である。

**反対意見** 地域包括ケアシステムの構築により、国は要支援1、2だけでなく、今後は要介護1、2についても保険給付から外す方向性であることに加え、各事業所は介護従事者の確保に依然として苦慮しており、サービスの質を追求すれば人件費で経営が成り立たないといった現状が改善されていないにもかかわらず、本案により手数料が課せられることとなるため、反対する。

### 平成29年度川西市一般会計補正予算（第6回）〈分割付託〉

**質問** 国の補正予算を活用し、市立幼稚園・保育所一体化施設整備事業について、現在、市は市立保育所の定員を600人より増やさない方針だが、待機児童が現時点で200人を超え、なおかつ大半が3歳未満児である現状を考慮し、今後定員を増やす考えはないか。



川西南中学校区市立幼保連携型認定こども園完成イメージ

**答弁** 現在のところ、600人の定員を変更する考えはない。

しかし、指摘のとおり待機児童は3歳未満児に集中しているため、その定員をより手厚くすることや、一定の基準を満たした上で定員を超えた弾力的な受け入れといった手法により対応していきたい。

**反対意見** 留守家庭児童育成クラブでは現時点で待機児童が発生していないことは評価するが、認定こども園については、1号認定児（教育のみを受ける子ども）の降園時間は午後1時半を予定しており、これまでの公立幼稚園の取り組みと差異が生じることに加え、2号認定児（保育が必要な子ども）は、午後から異年齢との混合クラスとなるなど、子どもたちの最善の利益という観点では大きく後退しているため、賛成できない。

## 建設公企常任委員会

<b>委員</b> （委員長＝〇 副委員長＝〇）	
〇秋田 修一	〇江見 輝男 大崎 淳正
北上 哲仁	住田由之輔 米澤 拓哉
安田 忠司	坂口 美佳 久保 義孝

### 市立川西病院の指定管理者の指定について

本案は、市立川西病院の指定管理者を医療法人協和会とし、指定の期間を平成31年4月1日から同日以後、最初に新築される病院における業務開始日の前日に属する年度の末日までの期間に、20年間を加えた期間としようとするものである。

**質問** 市立川西病院の経営形態の検討には複数案あったと思うが、最終的に指定管理者制度を採用した理由について伺いたい。

**答弁** 選択肢として、地方独立行政法人化、PFI方式、指定管理者制度の3つを検討した。

地方独立行政法人化は、事前に多額の資金を要するため現在の市の財政状況では困難であること、また、PFI方式は、施設の建設と運営を一体的に進める方式であり、病院事業の現状では困難と判断している。このため、民間事業者の経営ノウハ



ウやネットワークを活用した質の高いサービス等で効率化が図れる指定管理者制度を選択したものである。

**質問** 医療法人と締結する協定書案では、指定管理料を普通交付税の基準財政需要額に算入された額の上限としているが、これにより医療法人が小児医療等の政策医療を提供できると判断するのか。赤字により提供できない場合はどうするのか。

**答弁** 指定管理料により政策医療を担うことは仕様書にうたっており、しっかりと取り組んでいただく。

また、赤字を想定していないわけではないが、災害時等特殊な場合を除き、市が補填しないことは協定書に明記しており、赤字が生じても政策医療の継続を含めて指定管理者の責任で病院を運営することとしている。

**反対意見** 「（仮称）川西市立総合医療センター構想（案）」について、北部住民は地域から救急病院がなくなること望んでおらず、設置予定の北部診療所は住民ニーズに合致していないため白紙撤回すべきであり、本案に反対する。

**反対意見** 構想案は市民や職員に多大な影響があるにもかかわらず、理解促進や合意手続きに問題があるまま進められている。また、市が説明する医師確保や政策医療の継続、経営見通しのいずれも十分な根拠がないため、反対する。

**賛成意見** 職員の処遇など諸課題を解決するための議論は必要だが、市民の安全安心を守るためには、市に体力がある今のうちに改革に取り組みが必要であるため、賛成する。

**賛成意見** 今建て替えなければ病院の存続は不可能であるという市の説明は納得でき、将来、成功事例となるよう期待し、賛成する。

### 平成29年度川西市用地先行取得事業特別会計補正予算（第1回）

**質問** キセラ川西内に整備する（仮称）川西市立総合医療センター用地の先行取得費用として16億9597万4千円を追加しようとしているが、なぜ今計上するのか。

**答弁** 病院事業債で取得する手法もあるが、具体的に病院建設等を行うタイミングで活用することになる。この用地は土地区画整理事業の保留地（売却費用を事業費に充てる土地）と都市整備公社保有地であり、ともに資金繰りで29年度中に売却する必要があるので、今回、用地先行取得の仕組みを活用するものである。

**反対意見** 当該用地は、昨年3月の予算審議で、公募により決定した医療法人に売却するとしていたが、その後、市立川西病院の運営を指定管理者制度とする方針が示されるとともに、新病院の建設予定地を市が購入するという進め方は理解し難いため、賛成できない。

**平成29年度川西市病院事業会計補正予算（第1回）**

**質問** 病院経営安定化支援補助金として1億5千万円を追加しようとしているが、これにより、資金不足比率はどのようになるのか。

**答弁** 補助金追加により、資金不足比率は18.2%となる見込みであり、経営健全化基準の20%を下回ることになる。

**賛成意見** 本補正は、人事院勧告に基づく期末勤勉手当増額分が含まれており反対の立場だが、病院事業の必要性に賛同するため、賛成する。



議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
議案第29号	平成30年度川西市農業共済事業特別会計予算	歳入歳出予算総額1298万3000円(97万3000円増、前年度比8.1％増)	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	特 別 ・ 公 企 会 計 予 算 特 委
議案第30号	平成30年度川西市介護保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額123億9475万9000円(7億747万8000円増、前年度比6.1％増)	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	〃
議案第31号	平成30年度川西市用地先行取得事業特別会計予算	歳入歳出予算総額1571万7000円(1億6761万1000円増、前年度比6.3％増)	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	〃
議案第32号	平成30年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計予算	歳入歳出予算総額17億8380万5000円(14億7095万4000円減、前年度比45.2％減)	〃	〃
議案第33号	平成30年度川西市水道事業会計予算	支出総額44億8857万6000円(1億6141万2000円増、前年度比3.7％増)	〃	〃
議案第34号	平成30年度川西市下水道事業会計予算	支出総額57億4924万8000円(1億2129万7000円減、前年度比2.1％減)	〃	〃
議案第35号	平成30年度川西市病院事業会計予算	支出総額58億2784万3000円(1億8209万4000円減、前年度比3.0％減)	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	〃
請願第10号	コンビニエンスストアの健全化に関する請願書 (平成29年第5回定例会提出)	成人向け雑誌の陳列場所は、ついたてや壁で囲いをするなどコンビニエンスストア健全化に努めること	取 下 げ (全 員 賛 成)	総 務 生 活
請願第5号	青少年健全化の推進に関する請願書	市は県の青少年愛護条例に規定する市の責務を認識した上で、青少年の健全な育成に取り組むことを求める	採 択 (全 員 賛 成)	—
請願第4号	障がい福祉施策に関する請願書	中度の障害・療育手帳所持者にも通院医療費助成を求める	〃	厚 生 文 教
請願第1号	市立川西病院の指定管理者を3月市議会決定に対する請願書	市立川西病院の指定管理者の指定について、3月定例会で決定することなく、市民に周知の上論議する時間を求める	不 採 択	建 設 公 企
請願第2号	3月議会で川西病院の指定管理者を協和会に決めないことを求める請願	3月定例会で市立川西病院の指定管理者を協和会に決めないことを求める	〃	〃
請願第3号	3月議会で市立川西病院の指定管理者を協和会に決めないことを求める請願書	市立川西病院の公設民営化に係る議案の審議、議案の撤回、審議保留を求める	〃	〃
同意案第1号	教育委員会教育長の選任について	教育長に石田剛氏を選任する	原 案 同 意 (全 員 賛 成)	—
委員会提出 議案第1号	川西市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	これまでも設置されていた議案の審査または議会の運営に関し、協議又は調整を行うための場を法整備化し、議会活動として明確化を図る	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	—
委員会提出 議案第2号	川西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	市の組織再編に伴い、常任委員会の所掌事務を変更する	〃	—
委員会提出 議案第3号	川西市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	政務活動費に関する様式を整理する	〃	—

賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載      賛成：○    反対：×    欠席：－

会派名		公明党					川西まほろば会					明日のかわにし					日本共産党 議員団			連合市民 クラブ			自治市民 クラブ			維新の会	無所属
議案名	議員名	江見輝男	鈴木光義	大崎淳正	平岡譲	大矢根秀明	秋田修一	森本猛史	加藤仁哉	西山博大	久保義孝	小山敏明	米澤拓哉	斯波康晴	多久和桂子	北野紀子	住田由之輔	黒田美智	安田忠司	津田加代子	岡留美	北上哲仁	宮坂満貴子	福西勝	上田弘文	坂口美佳	吉富幸夫
		○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×
第1回定例会	議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×
	議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※地方自治法の規定により、西山博大議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

審議結果等一覧

第1回川西市議会(定例会)※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
議案第1号	川西市農業共済事業事務費の賦課総額及び賦課単価を定めることについて	平成30年度農業共済事業に必要な事務費を加入者に賦課することに伴い、その賦課総額及び賦課単価を定める	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	総 務 生 活
議案第2号	農作物(水稻)共済特別積立金の取崩しについて	平成30年度農作物(水稻)共済加入者を対象に共済損害防止事業を実施することに伴い、特別積立金を取り崩す	〃	〃
議案第3号	市立川西病院の指定管理者の指定について	市立川西病院の指定管理者として医療法人協和会を指定する	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	建 設 公 企
議案第4号	財産の無償譲渡について	市の公有財産の一部を無償で譲渡する	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	〃
議案第5号	川西市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	川西市国民健康保険事業特別会計の歳入歳出項目の追加及び整理を行う	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	総 務 生 活
議案第6号	川西市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	一般職員の給料表の改廃、住居手当の見直し、課長補佐級以上の職員の給料削減等を行う	〃	〃
議案第7号	川西市技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	技能労務職員の給与の種類及び基準を定める	〃	〃
議案第8号	川西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	非常勤消防団員等に係る損害補償の算定の基礎となる額の加算額を変更する	〃	〃
議案第9号	川西市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	重大な消防法令違反のある建物の情報の公表、製造所等の設置許可等に係る手数料の額の引き上げ等を行う	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	〃
議案第10号	川西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部改正に伴う所要の改正を行う	〃	厚 生 文 教
議案第11号	川西市国民健康保険条例及び川西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	国民健康保険制度改革により、県が財政運営の責任主体となること等に伴う改正を行う	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	〃
議案第12号	川西市指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	指定居宅介護支援の指定監督事務が県より権限移譲されるため、条例を制定する	〃	〃
議案第13号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	介護サービス事業者の指定等の審査に係る手数料を新たに設ける	〃	〃
議案第14号	川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	第7期介護保険事業計画の策定等に伴い、保険料率の改定等を行う	〃	〃
議案第15号	川西市自転車等の駐車秩序に関する条例の一部を改正する条例の制定について	自転車等駐車場に駐車できる対象車両及び撤去対象車両の範囲を普通自動二輪車(総排気量125cc以下または定格出力1キロワット以下のものであって、サイドカー付でないものに限る)までとする	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	建 設 公 企
議案第16号	川西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	都市公園の敷地面積に対する、当該都市公園の運動施設の敷地面積総計の割合の上限を規定する	〃	〃
議案第17号	平成29年度川西市一般会計補正予算(第6回)	歳入歳出予算の総額に3億47万2000円を減額、歳入歳出予算の総額は547億687万7000円	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	総 務 生 活 厚 生 文 教 建 設 公 企
議案第18号	平成29年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)	歳入歳出予算の総額に1億8232万2000円を追加、歳入歳出予算の総額は206億5397万円	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	厚 生 文 教
議案第19号	平成29年度川西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1回)	歳入歳出予算の総額に1億7639万7000円を追加、歳入歳出予算の総額は30億9953万6000円	〃	〃
議案第20号	平成29年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第3回)	歳入歳出予算の総額に4億5902万円を追加、歳入歳出予算の総額は122億2103万9000円	〃	〃
議案第21号	平成29年度川西市用地先行取得事業特別会計補正予算(第1回)	歳入歳出予算の総額に15億7605万4000円を追加、歳入歳出予算の総額は42億2416万円	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	建 設 公 企
議案第22号	平成29年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3回)	歳入歳出予算の総額に2962万1000円を減額、歳入歳出予算の総額は32億2513万8000円	原 案 可 決 (全 員 賛 成)	〃
議案第23号	平成29年度川西市水道事業会計補正予算(第2回)	収益的収入で水道事業収益を1億3212万2000円増額し37億465万3000円とし、収益的支出で水道事業費用を3774万4000円減額し33億2866万4000円に、資本的収入を767万8000円減額し5億4888万8000円とし、資本的支出を1600万円減額し9億4475万6000円とする	〃	〃
議案第24号	平成29年度川西市下水道事業会計補正予算(第2回)	収益的収入で下水道事業収益を1758万円減額し39億2051万1000円とし、収益的支出で下水道事業費用を3050万1000円減額し32億4155万5000円に、資本的収入を1億7461万4000円減額し13億4199万7000円とし、資本的支出を300万円減額し25億9548万9000円とする	〃	〃
議案第25号	平成29年度川西市病院事業会計補正予算(第1回)	収益的収入で病院事業収益を1億475万4000円減額し56億6058万4000円とし、収益的支出で病院事業費用を1億576万4000円減額し57億2960万4000円とする	〃	〃
議案第26号	平成30年度川西市一般会計予算	歳入歳出予算総額569億4100万円(23億7200万円増、前年度比4.3％増)	原 案 可 決 (賛 成 多 数)	一 般 会 計 予 算 特 委
議案第27号	平成30年度川西市国民健康保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額163億703万8000円(40億4939万2000円減、前年度比19.9％減)	〃	特 別 ・ 公 企 会 計 予 算 特 委
議案第28号	平成30年度川西市後期高齢者医療事業特別会計予算	歳入歳出予算総額31億348万9000円(1億8035万円増、前年度比6.2％増)	〃	〃





# 予算委員会報告

## 一般会計（歳入）

**質問** 兵庫県が公表した基準宅地評価額によると、27年度に比べ、米町地内が6.5%上昇している。30年度は固定資産の評価替えを控えていることから、本市の地価動向等について伺いたい。

**答弁** 地価が上昇しているのは市中心部の一部であり、北部地域等については下落幅が大きい。ため、市全体としての地価は平均1.4%程度減少している状況である。

評価替えに向けて、土地は毎年時点修正しており、家屋は減価償却分を見込んで予算計上している。

**質問** 30年度から1号認定児童のうち低所得世帯の保育料が無償化されるが、最も負担が大きい3歳未満児や認可外保育所での無償化は見送られている。保育の公平性から、全てを無償化すべきと考えるが市の見解を伺いたい。

**質問** 「健幸マイレージ」については、新たにSIB手法を導入し、事業規模を拡大して実施するため、委託料5305万2千円を計上しているが、成果に対する指標設定の考え方とあわせて、業務の効率化など、今回の委託効果をどのように見込んでいるのか伺いたい。

**答弁** 成果指標については、今後、サービス提供者や中間支援組織で形成する特別目的事業体と検討していくが、財源が国の地方創生推進交付金であり、単年で成果を見る必要があるため、最初の数年間は、歩数の推移や参加継続率等を分析し、最終的に医療費抑制効果を評価したい。

業務効率としては、今までは参加者数を2100人とするのが限界であったが、30年度は1千人追加できる。また、参加者のポイント累積を含め、現在は3年で参加期間が終了となるが、今回の仕組みにより4年目以降も継続した取り組みが可能となる。

**質問** 住宅政策推進事業において、（仮称）空き家活用リフォーム助成制度が新設されているが、制度の詳細について伺いたい。

**答弁** 子どもたちに必要な保育を提供するという観点では、保育料が安価もしくは無償が望ましいと認識しているが、財政面では多額の費用を要することから、国制度の動向を注視しながら取り組みを進めていきたい。

**質問** 大型ごみ処理手数料として1232万2千円の収入を見込んでいるが、この算定根拠のほか、30年度における処理券の販売見込み枚数を伺いたい。

**答弁** 28年5月に大型ごみ収集を有料化してから、1年間の実績を見ると、伸び率が150%程度となっていることから、これをもとに予算額を積算しており、処理券については、300円ものを4万1073枚販売すると見込んでいる。

**質問** 国庫補助金の地方創生推進交付金が4262万8千円計上されているが、これを活用する主な事業

**答弁** 当制度は流通可能で優良な空き家を中古市場へ誘導し活用を促すもので、定住を希望する若者世帯や子育て世帯の転入者を対象に、自己居住用の住宅として必要な改修費に対し助成するものである。

金額については1件当たり1千万円以内で改修費の3分の1を助成し、想定件数は10件として1千万円を予算計上している。

**質問** 災害対策事業において、防災行政無線をケーブルテレビ網に接続するための無線設備改修に係る業務委託料を計上しているが、詳細内容を伺いたい。

**答弁** 28年度から防災行政無線を運用しているが、気密性の高い住宅等が増えていることもあり、聞こえにくいとの指摘を多数いただいている。そこで、株式会社ジェイコムフエスト（以下、J・COM）と覚書を締結し、30年度からはJ・COMが各家庭に設置する端末から市の防災行政無線の内容を聞くことができるサービスを提供することとした。

**答弁** このサービスは有料であり、J・COM加入者は毎月300円・工事費5千円、未加入者は毎月500円・工事費6千円がそれぞれ必要である。今回、市では災害時に緊急情報を入手しにくい避難行動要支援者

内容を伺いたい。

**答弁** 30年度の新規事業としては、SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）手法を活用して、「健幸マイ

## 一般会計（歳出）

**質問** 市の広報誌については、若い世代に読まれていないと感じるが、この対応策について新年度での取り組みを伺いたい。



川西市のフェイスブック

**答弁** アンケート調査の結果等を見ると、若年層に広報誌が浸透しているとは言えない状況があるため、

**質問** 外国語教育推進事業において、児童・生徒の英語力向上のため、ALT（外国語指導助手）などの配置を拡充しているが、具体的な内容と期待している成果について伺いたい。

**答弁** 現在は小・中学校合わせて4名のALTを配置しているが、30年度はJETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）を活用して8名、直接雇用で1名の計9名を配置する予定であり、32年度からの新学習指導要領への移行に際しても、段階的に外国語活動を充実させることとしている。

ALTの配置は、ネイティブスピーカーにより本場の外国語に触れ、実際に対話することで外国語活動を充実させることができるほか、外国文化に触れることでグローバル化に対応できる子どもを育成する観点から、非常に重要な事業であると認識している。

**反対意見** 本予算案には既存事業拡充や新規事業が盛り込まれ、職員の創意工夫は評価する。

しかし、市立川西病院の整備構想に関しては、市民への説明等が不十分なまま粛々と進められようとしているだけでなく、今後不確定要素が多いた

### ◆一般会計予算審査特別委員会

◎北上 哲仁 ○秋田 修一  
大崎 淳正 吉富 幸夫 北野 紀子  
黒田 美智 斯波 康晴 福西 勝  
津田加代子 大矢根秀明 小山 敏明  
坂口 美佳 久保 義孝

### ◆特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会

◎鈴木 光義 ○多久和桂子  
宮坂満貴子 住田由之輔 森本 猛史  
加藤 仁哉 西山 博太 米澤 拓哉  
平岡 謙 江見 輝男 岡 留美  
安田 忠司 上田 弘文

委員長＝◎  
副委員長＝○

レージ」を中心とした健康づくり事業を展開するほか、2年目となる黒川地区のまちづくりに係る事業等の財源として予算計上している。

特集記事等で工夫を凝らすなどの努力は続けている。

しかし、紙媒体では読んでもらえないという面があるため、引き続き、ホームページやフェイスブックなどを活用した情報発信にも力を入れていきたい。

**質問** 認定こども園を含めた市立保育所における入所定員の増加見込みのほか、4月当初の待機児童解消に向けた見通しを伺いたい。

**答弁** 入所定員については、新たに小規模保育事業所2カ所を整備することにより38人、畦野こども里保育園の増築により20人の計58人の増員を予定している。

なお、待機児童解消については、直

め、最終的にどれだけの事業費を要するのか危機感を抱かざるを得ない。また、病院職員の解雇にも強い憤りを感じるため、指定管理者制度による病院運営の再考を強く求め、反対する。

**賛成意見** 第5次総合計画後期基本計画のスタートに当たり、本予算案では限られた財源を有効活用しつつ積極的に新事業に取り組む姿勢がうかがえる。

30年度からの市の組織再編に当たっては、PDCAサイクルを念頭に置いた組織マネジメントや、組織横断的な連携体制の構築への注力を期待するほか、以前にも増して丁寧な市民への説明や意見把握により参画と協働のまちづくりを推進するとともに、決算時点での収支均衡の達成に向けて職員が一丸となつて取り組むよう要望し、賛成する。

【委員会審査の結果…可決】



### SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）

官民連携の手法の一つで、社会的課題の解決と行政コストの削減を同時に目指す。行政サービスを委託された民間のNPOや企業が民間の資金提供者から調達した資金で事業を行い、あらかじめ合意した成果を達成できた場合にのみ行政が資金提供者に報酬を支払う。



# 特別会計

## 国民健康保険事業

**質問** 国民健康保険税の収納率はここ数年向上しているものの、県内他自治体と比較すると、高いとは言えない状況である。

**新年度は、一般被保険者の医療給付費分を92・8%と見込んでいるが、これ以上は厳しいのか。**

**答弁** 窓口等でのきめ細やかな納付折衝や、納税呼びかけセンターによる早期の納付勧奨、滞納処分といった取り組みを継続することにより、収納率は年々向上している。

毎年数%ずつ上昇していくことが理想的だと思うが、引き続き窓口等で丁寧に市民と向き合いながら、着実に収納率の向上を図っていきたい。

**反対意見** 国民健康保険制度は財政的に脆弱な構造となっており、国が財政支援によりこれを改善しない限り、都道府県単位で広域化しても制度として安定しない。また、本案では、医療給付費分の賦課限度額引き上げも含まれるため賛成できない。

【委員会の審査結果…可決】

## 後期高齢者医療事業

**質問** 兵庫県後期高齢者医療広域連合では、29年度末剰余金見込額96億4千万円の全額を取り崩すことにより保険料の大幅な上昇を抑制したことである。

そもそも、このような多額の剰余金を生む料率設定は妥当でないと考えるが、今後、制度を見直すような協議はなされないのか。

**答弁** これまでに発生した剰余金について、今回、全額投入という大胆な措置が講じられたことから、広域連合では料率設定に際して一定の見直しを行われたと推測している。

今後においても、仮に剰余金が生じた場合には、今回のように保険料率の上昇抑制に活用するものと理解している。

**反対意見** 保険料軽減措置に係る所得基準の見直しにより、軽減対象範囲が拡大される点は評価できるが、賦課限度額が現行の57万円から62万円に引き上げられ、被保険者の負担増となるため、本案には賛成できない。

【委員会の審査結果…可決】

## 農業共催事業

**質問** 水稲共済掛金の歳入が4万9千円計上されているが、水田の減少に伴い、引受面積・引受収量ともに年々減少傾向にある。

この点に対する抑止策について実情を伺いたい。

**答弁** 現状では有効な手立てが見つからない状況であるが、一般会計の事業で転作等による耕作放棄地の解消には取り組んでいる。

【委員会の審査結果…可決】

## 介護保険事業

**質問** 3年ごとに見直される介護保険料は、30年度からの第1号保険料基準額を140円引き上げ、4690円とする見込みとの説明を受けた。

**質問** 29年度末の介護給付費準備基金残高から3億9820万円を取り崩し急激な引き上げを抑えるとしているが、取り崩し額をさらに1億円程度上積みすれば、保険料を引き上げる必要はなかったのではないか。

**答弁** 新たな保険料を算定するに当たっては、基金総額1億8272万4千円の約3分の1を取り崩し、今後3年間の上昇を抑制するものである。

残りは団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」を見据え、将来的にも保険料が急激に上昇しないよう、次期改定以降に活用したい。

**反対意見** 30年度は保険料の引き上げが予定されているほか、居宅介護支援事業者の指定権限が市に移譲され、申請手数料も新設されようとしているため、本案には反対する。

【委員会の審査結果…可決】

## 用地先行取得事業

**質問** 豊川橋山手線、その他事業用地の一般会計への売却収入として15億3993万8千円を計上しているが、工事や売却手続きの進捗状況について伺いたい。



豊川橋山手線（美園町）

についても、重点的に事業を進めていく考えである。

【委員会の審査結果…可決】

## 病院事業

**質問** 住み慣れた地域で医療・介護などが一体的に提供される地域包括ケアシステムに関し、現在、市立川西病院では地域連携室を設置して努力されているが、病院を指定管理者が運営することとなった場合、こうした地域連携の取り組みは続けしていく考えなのか。

**答弁** 地域連携こそが患者確保の原点であり、指定管理者制度への移行後も、地域連携室を引き続き運営することは協定の中で明記している。

また、急性期の患者確保だけでなく、回復期や療養型へ移行する患者の退院支援という部分でも地域連携は非常に重要であると認識しており、これまで以上に充実させたい。

**反対意見** 北部地域には公設公営の病院を存続させ、市が提案する構想案は撤回すべきと強く求めてきたところであり、本予算案が指定管理者制度導入を前提として編成される以上、賛成はできない。

【委員会の審査結果…可決】

# 特別会計

## 国民健康保険事業

**質問** 国民健康保険税の収納率はここ数年向上しているものの、県内他自治体と比較すると、高いとは言えない状況である。

**新年度は、一般被保険者の医療給付費分を92・8%と見込んでいるが、これ以上は厳しいのか。**

**答弁** 窓口等でのきめ細やかな納付折衝や、納税呼びかけセンターによる早期の納付勧奨、滞納処分といった取り組みを継続することにより、収納率は年々向上している。

毎年数%ずつ上昇していくことが理想的だと思うが、引き続き窓口等で丁寧に市民と向き合いながら、着実に収納率の向上を図っていきたい。

**反対意見** 国民健康保険制度は財政的に脆弱な構造となっており、国が財政支援によりこれを改善しない限り、都道府県単位で広域化しても制度として安定しない。また、本案では、医療給付費分の賦課限度額引き上げも含まれるため賛成できない。

【委員会の審査結果…可決】

## 後期高齢者医療事業

**質問** 兵庫県後期高齢者医療広域連合では、29年度末剰余金見込額96億4千万円の全額を取り崩すことにより保険料の大幅な上昇を抑制したことである。

そもそも、このような多額の剰余金を生む料率設定は妥当でないと考えるが、今後、制度を見直すような協議はなされないのか。

**答弁** これまでに発生した剰余金について、今回、全額投入という大胆な措置が講じられたことから、広域連合では料率設定に際して一定の見直しを行われたと推測している。

今後においても、仮に剰余金が生じた場合には、今回のように保険料率の上昇抑制に活用するものと理解している。

**反対意見** 保険料軽減措置に係る所得基準の見直しにより、軽減対象範囲が拡大される点は評価できるが、賦課限度額が現行の57万円から62万円に引き上げられ、被保険者の負担増となるため、本案には賛成できない。

【委員会の審査結果…可決】

## 農業共催事業

**質問** 水稲共済掛金の歳入が4万9千円計上されているが、水田の減少に伴い、引受面積・引受収量ともに年々減少傾向にある。

この点に対する抑止策について実情を伺いたい。

**答弁** 現状では有効な手立てが見つからない状況であるが、一般会計の事業で転作等による耕作放棄地の解消には取り組んでいる。

【委員会の審査結果…可決】

## 介護保険事業

**質問** 3年ごとに見直される介護保険料は、30年度からの第1号保険料基準額を140円引き上げ、4690円とする見込みとの説明を受けた。

**質問** 29年度末の介護給付費準備基金残高から3億9820万円を取り崩し急激な引き上げを抑えるとしているが、取り崩し額をさらに1億円程度上積みすれば、保険料を引き上げる必要はなかったのではないか。

**答弁** 新たな保険料を算定するに当たっては、基金総額1億8272万4千円の約3分の1を取り崩し、今後3年間の上昇を抑制するものである。

についても、重点的に事業を進めていく考えである。

【委員会の審査結果…可決】

## 病院事業

**質問** 住み慣れた地域で医療・介護などが一体的に提供される地域包括ケアシステムに関し、現在、市立川西病院では地域連携室を設置して努力されているが、病院を指定管理者が運営することとなった場合、こうした地域連携の取り組みは続けしていく考えなのか。

**答弁** 地域連携こそが患者確保の原点であり、指定管理者制度への移行後も、地域連携室を引き続き運営することは協定の中で明記している。

また、急性期の患者確保だけでなく、回復期や療養型へ移行する患者の退院支援という部分でも地域連携は非常に重要であると認識しており、これまで以上に充実させたい。

**反対意見** 北部地域には公設公営の病院を存続させ、市が提案する構想案は撤回すべきと強く求めてきたところであり、本予算案が指定管理者制度導入を前提として編成される以上、賛成はできない。

【委員会の審査結果…可決】

# 公営企業会計

## 水道事業

**質問** 4730万4千円を計上し、30年度から滞納整理・窓口業務を民間委託するに伴い、職員が

2名減となっている。事業者が個人情報取り扱いなど倫理面を遵守しながら業務を進めるために、どのような精査をしてきたのかについて伺いたい。

## 中央北地区土地区画整理事業

**質問** 公共施設整備事業の委託料9623万円には、PFI事業者によるキセラ川西におけるまちづくりコーディネート支援業務費が含まれている。

そこで、当該業務とキセラ川西せせらぎ公園の管理棟整備との関連を伺いたい。

**答弁** 豊川橋山手線の整備用地における売却額は1515万5千円となっており、工事は地権者の協力を得ながらおおむね順調に進捗している。残りの区画についても、用地を取得できたところから順次進めたい。

**答弁** その他の公共施設用地については、管財事業の中で予算措置し、30年度に整備を行う予定である。

【委員会の審査結果…可決】

## 中央北地区土地区画整理事業

**答弁** 30年度における当該業務では、市民への情報提供の場として活用するキセラカフェ等の運営支援、エコまち計画における低炭素化の評価、地区内のエリアマネジメント等を予定している。管理棟はこれらとは別に、市民ワークショップ等の意見を設計に反映しながら建設を進めることとなる。

ただし、両業務は密接に関連するため、PFI事業者には双方の取り組みに参加するよう促している。

**賛成意見** キセラ川西の整備に、多額の公費を投じている点は反省すべきだが、工場による臭いなど、長年本市を悩ませてきた問題が解決し、整備が完了しようとしている点は評価する。このため、30年度予算に限っては大きな問題はないと判断し、本案に賛成する。

【委員会の審査結果…可決】

## 下水道事業

**質問** 豪雨時の浸水対策について、30年度に予定している具体的な取り組みを伺いたい。

**答弁** 東畦野第一排水区において大雨時にあふれる幹線水路の対策工事を行うほか、豊川橋山手線拡幅事業に合わせ、雨水管きよの埋設工事を計画している。

これらのほか、浸水が常態化している地区で対応ができていない箇所





# 総括質問

## 公明党

質問者：江見輝男

### 「地域分権制度」 現状認識と将来像は

**質問** 導入後3年が経過する地域分権制度について、成果や課題に関する現状認識とともに、当該制度の将来像について考え方を伺いたい。

**答弁** 今年度からは、全ての「ミニミニ組織」で地域一括交付金を活用し、活発な活動に取り組んでいただいている。

こうした中で、役員の高齢化・固定化や担い手不足、さらには、当該制度や「ミニミニ」活動が十分認知されていないといった課題についても認識している。将来的には、必要な財源の確保を含めて、各地域で自立した活動が継続的に展開されていくことを目標としており、地域活動に関心を持ってもらえるよう、情報発信の強化を図るとともに、地域と市をつなぐパイプ役となる地域担当職員を配置して、行政組織内の連携を促進しながら、引き続き各地域の特性を生かした取り組みの活性化を支援していきたい。

### その他の質問項目

○市長就任11年目の歩みと3期目締めくくりの決意について ほか

### 会派所属議員

鈴木光義 大崎淳正 平岡 譲  
大矢根秀明 江見輝男

## 川西まほろば会

質問者：久保義孝

### 「新病院構想案」 市長の決意を問う

**質問** 市立川西病院については、早急に経営基盤の安定化等を図る必要があるため、(仮称)川西市立総合医療センター構想案が示されたと理解しているが、この決断に至った市長の決意を伺いたい。

**答弁** 市立川西病院は、26年度決算において経営健全化団体となり、その後、病院改革に取り組んできたが、収支改善には至っていない状況である。

こうした中、市からの財政支援の限界、健全化計画の達成状況、さらには現病院施設の老朽化等を考慮して、(仮称)川西市立総合医療センターの整備と指定管理者制度の導入を判断したものである。

新等も考慮して、(仮称)川西市立総合医療センター構想案が示されたと理解しているが、指定管理者制度による病院運営について、その効果をどう考えているのか伺いたい。

**答弁** (仮称)川西市立総合医療センター構想については、今後、基本構想を策定する中で、さらに具体的な内容を検討することとしているが、指定管理者制度の導入による効果については、民間事業者の経営ノウハウとネットワークを活用し、質の高いサービスの提供と効率的な運営が期待できると考えている。

さらに、市が指定管理者とともに公営企業を協力して経営することで、政策医療や高度先進医療を担いながら、一定の指定管理料により、安定的な病院経営が実現できるものと考えている。

### その他の質問項目

○新年度予算編成にあたっての基本的な考え方について ほか

### 会派所属議員

津田加代子 岡 留美 安田忠司

## 自治市民クラブ

質問者：北上哲仁

### 留守家庭児童育成クラブ 待機児童解消を

**質問** 留守家庭児童育成クラブの待機児童解消は、極めて優先度の高い課題であると認識するが、新年度

この構想案は、(仮称)キセラ川西センターにおいて、小児・周産期・救急などの政策医療のほか、高度急性期医療を担うとともに、北部診療所(案)の検討と併せて、市民が安心して暮らせる医療体制を守るための最善の策と考えている。

### その他の質問項目

○市長の市政運営に取り組む志について ほか

### 会派所属議員

森本猛史 加藤仁哉 西山博大  
秋田修一 久保義孝



市立川西病院(東畦野5丁目)

## 明日のかわにし

質問者：小山敏明

### まちの魅力を向上させる 行政運営を

**質問** まちの魅力向上を図るためには、人が暮らすためのさまざま

における対応策について伺いたい。

**答弁** 留守家庭児童育成クラブについては、共働き世帯の増加等により、入所希望者が年々増加傾向にあるため、待機児童解消には至っていない。

新年度における拡充策としては、川西小学校でークラブを増設するほか、加茂及び牧の台小学校では、児童福祉法に定める基準の面積が確保できる範囲で受け入れの拡大を図る考えである。

今後とも各学校と協議しながら、空き教室を活用したクラブ増設を検討するほか、放課後子ども教室との連携、さらには民間事業者の参入促進等を図るほか、土曜日や長期休業中における子どもたちの過ごし方といった面についても研究していきたい。

### その他の質問項目

○国際社会におけるリスクについて ほか  
会派所属議員

宮坂満貴子 北上哲仁 福西 勝



留守家庭児童育成クラブ

必要素を総合的に判断する必要がある。地域の特性を正確に捉え、コンパクトなまちづくりを進め、行政サービスを誰もが使いやすいものにするといった視点での施策評価と、事業等の優先順位を考慮した行政運営について、どう考えるか伺いたい。

**答弁** キセラ川西や新名神高速道路などのハード整備が完了を迎えようとしており、今後、施設や公園等の魅力をより多くの人に感じてもらうためには、市民との対話を踏まえて、より良い活用方法等を検討していく必要がある。

### その他の質問項目

○市長の基本的な政治姿勢について ほか

### 会派所属議員

米澤拓哉 斯波康晴 多久和桂子  
小山敏明

## 日本共産党議員団

質問者：北野紀子

### PFI方式による 事業推進の見直しを

**質問** 近年、本市では公共施設の整備等に際し、PFI方式を導入

## 維新の会

質問者：上田弘文

### 生活道路内の安全対策を 推進せよ

**質問** 生活道路における歩行者等の安全対策として、車両の制限速度を時速30キロメートル以内に規制する「ゾーン30」が全国的に展開されている。

本市の大規模住宅団地内をはじめとする生活道路での安全対策として、ドライバーへのペナルティを強化するなど、市から警察署に対して提言する考えはないか伺いたい。

**答弁** 現在、本市における「ゾーン30」指定区域内では、ドライバーに対して、「スピード落とせ」や「通り抜けはご遠慮願います」といった看板を設置することなどにより、安全運転に係る啓発を行っているところである。

この指定区域内に特化して、違反措置を厳しくすることは難しいと考えているものの、速度超過の抑制を図るため、引き続き川西警察署にパトロールの強化等を要望していきたいと考えている。

### その他の質問項目

○市長就任3期の市政運営について ほか

### 会派所属議員

坂口美佳 上田弘文

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索





# 一般質問

検索

## 教育

### 「中学校部活動」 外部指導者の活用を

自治市民クラブ 福西 勝

**質問** 中学校における部活動は、生徒生活の実現に大きな役割を果たし、さまざまな成果をもたらすと考えているが、少子化に伴う部員数や教員数の減少、指導体制、地域的な問題等の課題がある。国では、教職員の負担軽減を目指して、外部指導者等の活用などを進めようとしているが、部活動の活性化に向けてどう取り組む考えか。

**答弁** 中学校の部活動は、学習意欲の向上や責任感、良好な人間関係の形成等を狙いとしているが、長時間練習によるけがや故障、学業への悪影響などの弊害が指摘されているほか、顧問を務める教員の長時間労働による負担増大や勝利至上主義等が全国的な課題と認識している。

国が示す「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」には、地域の実態に応じたスポーツ活動を創造するという視点があり、本市では、外部コーチの拡充や複数校合同の運動部活動が考え

られるものの、競技とのマッチングや合同部活動を実施する学校間の距離等の課題があるため難しいという実態がある。今後とも、情報収集に努め、人材の確保などに努めていきたい。

### その他の質問項目

○公共施設管理計画における今後の取り組みについて



## 病院

### 「新病院構想案」市民に 負担を強いる案の見直しを

無所属 吉富幸夫

**質問** 市は、公立病院を維持すべく、市が直営する市立川西病院から、(仮称)川西市立総合医療センター構想

案に基づき、キセラ川西地内に(仮称)市立総合医療センター、東谷地域に北部診療所を整備し、公設民営として指定管理者に運営を委託する方針である。

当該構想案では、整備費用の一部と指定管理料を市が支出するが、財政状況を考えると、医療センターの整備費用等に支出する財政的な余裕がないことから、市内全体の医療サービスは民間医療法人に任せるなど、将来にわたって市民に負担を強いる構想案を見直す考えはないか。

**答弁** 政策医療(救急・小児・周産期医療)を担うことは、公的部門の役割であることから、これに要する経費を指定管理者に支出することが市の基本的な考え方であり、この部分には国からの支援も受けることになる。

また、現在の市立川西病院への市の財政支援や老朽化による建替えに必要な財源確保が難しいほか、市北部では医療スタッフ確保が困難などという課題がある。これらを複合的に考えると、構想案に沿って病院の再編ネットワーク化を図ることが、市の医療環境において最善であるとの判断に至ったものである。

### その他の質問項目

○一の鳥居駅のバリアフリー化について

## 市民生活

### 「キセラ川西プラザ」 開館後の取り組みは

公明党 鈴木光義

**質問** 30年秋、火打一丁目地内に文化芸術及び福祉の一大拠点としてホールを備えたキセラ川西プラザがオープンする。

そこで、開館に向けた具体的な取り組み内容と開館後の運用等を伺いたい。

**答弁** キセラ川西プラザでは、9月中旬に記念式典や著名な音楽家によるコンサートなどのオープニングセレモニーを企画しており、25日に、子ども・若者ステーション、社会福祉協議会などの施設や公民館をオープンする予定としている。開館後は、情報共有や交流を図りながら、福祉の向上、子育て支援などの施設設置目的に沿った運営に取り組んでいきたい。

キセラホールは、11・12月にオープニングフェスティバルを開催し、31年1月4日から一般利用を開始する予定である。フェスティバルでは、音楽や舞踏、演劇や伝統芸能などさまざまな団体に出演していただけるよう、広報紙により、ホール等を無料使用できることや、活動拠点が市内にあるなどの要件を満たした団体を対象に募集することとしている。

**答弁** 当プラザは、低炭素建築物の認定や建物の環境性能を示すCASBEEの最高評価を獲得しており、その周知について考えていきたい。

### その他の質問項目

○全国小中学校体力テストの結果における本市児童生徒の実態と今後について

## 教育

### 図書館司書を充実せよ

川西まほろば会 森本猛史

**質問** 公共図書館の果たすべき使命は、生涯学習の拠点として、知的市民生活を支え、創出することであると考える。

このため、図書館運営においては、単なる本の貸し出しや受け身のレファレンスサービス(調べもの相談)にとどまらず、多様なニーズを先取りしてサービスを提供することが必要である。これを実現させるためには、司書の充実が必要不可欠であると考えるがどうか。

**答弁** 本市の図書館行政の中心的役割を果たしている中央図書館では、過去5年間の重点的な取り組みとして、図書館相互利用をこれまでの阪神間に加えて、近隣の池田市、豊能町とも開始したほか、生涯学習支援や参画と協働の観点から、読み聞かせや視聴覚障がい者サービスに関するボランティアの育成、学校図書館との連携、協力体制の構築などを行ってきたものである。

しかし、来館者数や個人貸出件数が減少傾向にあることから、今後は、読書サービ

スの中心的役割を果たしつつ、従来の図書館の役割や個人貸出にとらわれないサービス提供が必要と考えている。



市立中央図書館(アステ川西内)

しているほか、地域住民の協力を得ながら学校図書館への司書配置を年次的に拡充させているところである。

## 交通安全

### 「通学路の交通安全対策」 責任の所在は

明日のかわにし 多久和桂子

**質問** 全国的に通学路における事故が、年生の年齢層については、交通事故による死傷者数が多いといった統計データもあり、懸念されることである。

本市では、保護者、地域の見守り隊、教育委員会等がそれぞれ通学時における児童の安全確保に取り組まれているが、教育委員会として、通学路における交通安全対策に係る責任の所在をどう認識しているかについて伺いたい。

**答弁** 通学路は、児童生徒の安全確保を最優先し、PTA、地域自治会、

## 病院

### 「新病院構想案」 職員の処遇について問う

日本共産党議員団 住田由之輔

**質問** 市は、昨年5月に(仮称)川西市立総合医療センター構想案を発表し、9月に実施した市民説明会では、構想案の見直しを求める意見が多数あったにもかかわらず、翌10月には指定管理者募集要項が作成されており、市民の意見を無視して事業を強行している。

また、指定管理者制度を導入した場合、約280人の経験豊富な医療スタッフ等が分限免職された後、指定管理者に委ね

られることで大幅な給与減額が見込まれるが、市はこれを容認できるのか。

**答弁** 病院スタッフの処遇については、職員の人生設計に関わる重大事項であり、医療法人協和会としても現病院スタッフを全て引き受けたいとの思いであることから、丁寧な対応ができるよう、今後もしっかりと協議をしていくと考えている。

また、給与については、同法人から提出された収支計画によると、人件費が大幅に減額となっていることを認識しているが、この内訳については示されていないため、指定管理者の指定について議会の議決をいただいた後、どのような給与体系になるのか調査を行った上で、処遇等について調整したいと考えている。

### その他の質問項目

○「市立川西病院問題」結節点における市長の決断・決意・指示について ほか

## 病院

### 「新病院構想案」 周知状況と取り組み方針は

連合市民クラブ 津田加代子

**質問** 市では、(仮称)川西市立総合医療センター構想案に基づき取り組みが進められているが、この構想案等に関して、独自に160人の市民と対面により意見交換を行ったところ、医療センターに期待感を抱く方や他に選択肢がないといった消極的賛成も含めて、約7割の市民が賛成している。その一方で、

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会



北部地域において総合病院が存続しないことへの不安感等を反映し、約3割の市民が反対する結果となっており、このような点を考慮すると、市の説明が不十分と感じている。

そこで、当該構想案や市立川西病院の経営状況等に関する周知状況と、今後の取り組み方針について伺いたい。

**答弁** 市では、構想案の発表以来、市民説明会を2回、出前講座を20数回行ったほか、地域の「ミニミニティ」や「ミニティ」連合会などへ、休日も含めた意見交換を行っている。

今後は、広報紙による特集記事を新年度早々に企画、掲載することにより、さらなる周知に努めるほか、継続して「ミニミニ」単位での出前講座を実施するなど、対面により丁寧に意見交換する機会をできるだけ多く確保していきたいと考えている。

#### その他の質問項目

○小・中学校にエレベーター設置計画を進めていくことについて

### 教育

## 「教育環境の電子化」今後の展望は

自治市民クラブ 宮坂満貴子

**質問** 教育は、単なる「コミュニケーション」の手段としての語学教育ではなく、多様な文化を理解し、グローバル規模の豊かな発想を通じた生きる力の育成であると

それぞれの実情やニーズに応じた使い方を模索する必要があると感じている。

これらの状況を踏まえて、今後は、地域住民が公園の在り方を協議する場を設け、市や専門家とともに検討を進めるなど、地域が主体となつて取り組める仕組みづくりを構築することが重要であり、こうしたことが市民満足度を高めることにつながるかと考えている。

#### その他の質問項目

○マイナンバーカードを活用した市民サービスの向上について ほか

### 健康

## 「基準緩和型訪問サービス」今後の方向性は

公明党 平岡 譲

**質問** 介護予防に係る訪問介護や通所介護については、市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業に移行するが、このうち、基準緩和型訪問サービスは、市民ボランティアや地域での支え合いなどを進めるため、ヘルパー資格を持たない人でも一定の研修を受けることで、清掃や買い物などの生活援助を行うことが可能になるものである。

そこで、本市における当該サービスの担い手の現状と事業推進に向けた今後の方向性について伺いたい。

**答弁** 基準緩和型訪問サービスは、29年度から始まったものであるが、ケアマネジメントにおける認知度が低く、担い手となるための研修申込者やサービ

考える。

今後、グローバル教育を推進する上で、ICT（情報通信技術）機器や電子黒板、デジタル教科書など、教育環境の電子化が進むと考えるが、市はこれにどう取り組むのか。



**答弁** 小学校で32年、中学校で33年からそれぞれ本格実施となる新学習指導要領では、今後、グローバル化や情報化が急速に発展する中で、子どもたちが主体的に向き合つてかわりあい、自らの可能性を発揮できるよう、「主体的・対話的で深い学び」が重要であるとされている。

市では、「国際化に対応した教育」という視点から、外国語による「コミュニケーション」能力を育むとともに、主体性やチャレンジ精神を持ちながら、異なる文化や価値観を理解し、国際社会の平和や発展に貢献する態度の育成に努めている。

今後、ALT（外国語指導助手）や地域人材によるグローバル教育が進む中

ス提供事業者が少数であるため、30年度においても利用者が少ないと推測している。

今後においては、担い手の確保や多様なサービスの展開が課題になると捉えており、当該サービスの周知はもとより、高齢者が地域で自立した日常生活を送れるよう、市として、協議体を通して地域ごとの課題等を把握するとともに、地域の担い手を確保し、連携を図りながら取り組みを充実・強化していきたいと考えている。

#### その他の質問項目

○本市における糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取り組みについて

### 交通安全

## キセラ川西周辺道路の交通対策は

公明党 大矢根秀明

**質問** せらぎ公園が開園しており、今後、キセラ川西プラザや大型商業施設もオープンする予定であるが、これに伴い交通量の大幅な増加が懸念されている。

この安全対策は喫緊の課題であり、自転車通行時の歩道活用や歩車分離型の信号機設置のほか、渋滞緩和を促すための交差点改良や駐車場の分散化などが有効な手立てと考えられる。

そこで、当該地区内や周辺道路における渋滞緩和策や安全対策について、市の具体的な考え方を伺いたい。

で、ICTは非常に有効と認識していることから、短期的、長期的に見据えた整備を検討している。

#### その他の質問項目

○子ども会議の開催について

### 健康

## 健康づくり事業にSIB手法の活用を

川西まほろば会 加藤仁哉

**質問** 健康診断の受診率向上など、他市では、民間の資金や事業者のノウハウ等を活用した成果報酬型の委託事業であるSIB手法を導入することにより、健康施策を推進し、結果として経費の節減につながるといった事例が増えている。

本市でも特に健康づくりに関連する事業で導入効果が期待できると考えるが、これに対する市の見解を伺いたい。

**答弁** 30年度から「広域自治体連携によるSIBヘルスケアプロジェクト」に参加し、新潟県見附市・千葉県白子町と広域連携を図りながら、SIB手法を活用して「健康マイレージ」事業を推進する予定であり、現在、国の地方創生推進交付金の申請手続きを進めているところである。これが実現した場合には、同事業の参加者を大幅に増やすことができることも、データ分析等で継続的な取り組みが可能となるなど、大きな効果が期待できると考えている。

限られた予算の中で最大の効果を発揮

**答弁** キセラ川西地区内の整備においては、火打滝山線、小花滝山線の改良工事に伴い、交差点に右折レーンを設置するほか、周辺道路では、網延橋路切抜幅を含めた豊川橋山手線の拡幅や、市道3号の改良工事等を鋭意進めている。

また、これらに加え、公安委員会や警察に対する自転車の歩道活用や信号操作を含めた調整や、キセラ川西地区内における大規模駐車場の共同利用も検討しており、渋滞緩和や安全対策に向けた課題はなお多いものの、これらが実現すれば一定の効果をあげることができると考えている。

#### その他の質問項目

○SNSを活用した相談事業導入について



キセラ川西せせらぎ公園周辺道路（火打1丁目）

### 公園

## 魅力的なまちづくりへの考え方は

川西まほろば会 秋田修一

するため、これまでさまざまな事業で民間委託を行ってきたが、特に、ヘルスクア分野ではSIB手法が有効であるとして他市でも取り組みが進められており、これらの事例を研究しながら今後の健康づくり事業を推進していきたい。

#### その他の質問項目

○参画と協働のまちづくりについて

### 公園

## 公園利用者の満足度向上を

明日のかわにし 斯波康晴

**質問** 28年度の市民実感調査では、市内の公園について「満足して利用している」の回答割合が13.1%と低い水準となっている。地域イベント等に際して、公園内にある電気コンセントの使用を弾力的に認めるなど、利用者の満足度向上に向けた今後の取り組みについて伺いたい。

**答弁** 既にコンセントが設置されている公園では、現在でも、電気使用料金を負担いただく前提で、地域におけるイベント等での使用を認めており、今後も同様の取り扱いとする考えであるが、料金の支払い方法を簡略化するなど検討は、継続して行う必要があると考えている。

公園整備は、従来、国の基準に沿った遊具の設置など、画一的に公園整備が進められてきたが、近年では、地域ごとに公園の果たす役割が異なってきたおり、

**質問** ドラゴンランドは、猪名川河川敷の阪神高速道路高架下という立地を生かした全天候型で親水性の高い公園であるが、利用者の口コミや駐車場対策などが功を奏し、市外からの利用者も増え、交流人口の拡大が図られた好事例である。このほか、川西能勢口駅前で誕生した「藤ノ木さんかく広場」でもイベントが開催され、人が訪れる動機付けとなっている。

こうしたマネジメントによって、市をもっと魅力的にできると思うが、今後のまちづくりに向けた考え方を伺いたい。

**答弁** 第5次総合計画後期基本計画において、「子ども未来プロジェクト」「いきいき健康プロジェクト」「まちの魅力向上プロジェクト」を重点プロジェクトとして位置付けている。

これらのプロジェクトは、各施策を横断的に展開するもので、積極的な取り組みにより相乗効果を生み出し、ひいては地域の発展、総合的なまちづくり、魅力の向上につなげていきたいと考えている。

今後とも、公園の利活用を含め、商業振興、中心市街地活性化、地域文化向上など、市民がにぎわいを支える魅力や楽しみにあふれたまちを目指して施策を推進していきたいと考えている。

#### その他の質問項目

○川西市における都市マネジメントに対応した都市公園のあり方について

検索

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会





# 委員会視察報告

## 飛行場対策周辺整備 調査特別委員会

### 期間

平成30年2月5日

### 訪問都市・目的

成田国際空港株式会社

「成田国際空港の現状と今後の取り組みについて」

成田市

「成田市における騒音・環境対策について」

「公益財団法人成田空港周辺地域共生財団

「航空機騒音」データ処理システムについて」

本特別委員会の目的は、大阪国際空港が存在する中で、川西市における実態調査と、課題である「安全確保、騒音の軽減」に議会としてどのように対処していくかにあります。

そのため、今回の視察では周辺住民の方々への対応や、騒音問題の解決に向けた取り組みなどを調査してきました。

成田国際空港株式会社では、「成田闘争」の言葉に象徴されるように、周辺住民との軋轢（あつれき）の歴史を経て、今日では住民との共生を前面に、対話最優先で事柄を進めている実態を知りました。そ

のような状況にお

いて新たに第3滑

走路の建設が浮

上していることか

ら、今後どのよう

に取り組んでいく

のか、着陸コース

に新たに編入され

る自治体への対応

などについて質疑

しました。その他

にも、騒音軽減へ向けた低騒音機種への交換の進捗

状況、遅延対策と飛行時間の延長問題、空港内での

トラブルと海外旅行者の宿泊施設の問題などにも

言及し、懇談しました。

成田市では、「騒音と環境対策」の観点から、住

民の安全と平穏な生活を守るためにかに行政として

取り組んでいるかという点について、質疑、懇談を

行いました。特に空港隣接区域対策として、空港会

社、県、周辺市町が共同し、「成田空港周辺地域共

生財団」を立ち上げられ、騒音対策や共同利用施

設の管理等へ法の枠を超えて対応されている実態や、

成田市として、「特定空港周辺航空機騒音対策特別

措置法」に基づき、対応していることを伺いました。

成田空港周辺地域共生財団での視察では、航空機

騒音、データ処理について、市民へ瞬時に騒音値と機

種が特定できる情報の管理を一元化している状況な



どを調査・視察しました。

（委員長 住田由之輔）

### 視察委員

大崎淳正

米澤拓哉

住田由之輔

福西 勝

西山博大

津田加代子

秋田修一

坂口美佳

## 市立病院整備調査 特別委員会

### 期間

平成30年2月5日～2月6日の2日間

### 訪問都市・目的

上野原市

「上野原市立病院の指定管理者制度について」

総務省・厚生労働省

「公立病院の経営改革に関する現状と今後の方向性について」

昨年5月に「(仮称)川西市立総合医療センター構想(案)」が発表され、議会として直ちに市立病院整備調査特別委員会を立ち上げ、構想案発表に至る経緯を確認するとともに、今後の対応について協議を重ねています。

この度、委員会視察として、指定管理者制度導入の先進事例である山梨県上野原市立病院と国の所管部署から、視察項目に関する説明と質疑をさせていただきました。

1日目は上野原市立病院の指定管理制度導入の背景や導入までのプロセス、指定管理者との協定に

中心市街地の再活性化が大きな課題となっており、市ではこれらの施設を活用して、「めまづばんまるしえ」(中心商店街)、「スイーツフ」(中央公園イベント)、「狩野川ローカルマーケット」、「水辺のステージ」(風のテラス利用)など行政と地域の商店街や市民活動等が連携を図りつつ、集客事業の展開、回遊性の創出等への取り組みを進められています。

委員からは、県外からの転入促進を図る「転入奨励金交付制度」や、賑わい創出事業の地域経済や税収への波及効果について、また、若年層の活動への参加促進策等について多くの質問が出て、熱心に質疑が交わされました。

翌日の大垣市では、現地調査をした再開発ビルの屋上から、大規模駐輪場や商業施設、ホテルや高層住宅等が整然と整備された駅前と旧市街地が、融和しつつ事業が進む中心市街地を一望できました。今後は、南北に分断されている街の居住圏、商業圏をつなげるための鉄道高架事業が大きな課題等と説明を受けました。

委員からは、まちなか居住推進策での定住促進効果と実績について、市内に2カ所ある高速道路インターチェンジの周辺開発状況について、駅周辺整備に対する民間事業者、行政の関与について等の質問があり、資料をもとに詳細な説明を受けました。

両市ともいま、地方自治体が同様に抱えている課題であり、充実した調査となりました。今後のまちづくりに活かして参ります。

### 視察委員

鈴木光義

大矢根秀明

宮坂満貴子

岡 留美

加藤仁哉

多久和桂子

北野紀子

上田弘文

（委員長 岡 留美）

### 視察委員

北上哲仁

平岡 譲

久保義孝

森本猛史

江見輝男

安田忠司

黒田美智

安田忠司

小山敏明

ス波康晴

## 中心市街地・新名神周辺 整備調査特別委員会

### 期間

平成30年1月22日～1月23日の2日間

### 訪問都市・目的

静岡県沼津市

「中心市街地のまちづくりにについて」

岐阜県大垣市

「大垣駅南街区第一種市街地再開発事業について」

1月下旬、まちづくり施策について先進地に学ぶため、沼津市と大垣市を訪ねました。

沼津市では、まず市の中心部を流れる狩野川周辺に整備された「風のテラス」(河川敷の階段堤)や中央公園等の現地調査をしました。

沼津市でも、居住圏、商業圏の郊外化が進む中で、





## 受理した陳情

- 国への意見書提出を求める陳情書
- 学校給食の直営自校方式での早期実施を求める陳情
- 陳情書(川西北部の住民の命の抛り所、市立川西病院の閉鎖及び川西市立総合医療センター構想案の中止を求めます)
- 陳情書(市立川西病院の指定管理について市長による説明をていねいに行い、住民の意見反映と理解のための時間の保障をお願いします。)
- 要望書(今議会で公設民営化方針を決めるのではなく継続審議とすることを求める)
- 陳情書(病院の統合に伴う整備で国から財政支援を受けられるのは2020年迄。3月議会での決定は危険!! 見送りを!!)
- 仮称「川西市総合医療センター構想」案の白紙撤回を求める要望書
- 要望書「(仮称)「川西市立総合医療センター」構想案の審議においては、来る3月26日の本会議で早急な結論を出すことなく、継続審議とするよう要望します。」
- 陳情書(1. 別居・離婚後、子を連れ去り、子を実親と引き離し続ける人権侵害、児童虐待を防止する条例整備とその法整備に関する陳情)
- 仮称「川西市総合医療センター構想」案の白紙撤回を求める要望書

## かわにし市議会からのお知らせ

### ●一般質問の日は午前9時30分から 本会議を始めます

次の定例会の予定は下記のとおりです。一般質問を予定している11、12、13日は、午前9時30分開議となります。これは、議会改革の一環として、質問時間を十分に確保し、議論の質を高めることを目的としています。

また、当市議会では、本会議のほか、議会運営委員会、常任・特別委員会など、全ての会議を公開しています。会議の日程は市議会ホームページに掲載していますので、ぜひ傍聴にお越しください。

なお、急きょ会議を開催したり、予定が変更になることがありますので、詳しくは市議会事務局へお問い合わせください。

### 6月定例会(予定)

6月 4日(月)	午前10時	本会議(招集日)
11日(月)	午前9時30分	本会議(一般質問)
12日(火)	〃	本会議( 〃 )
13日(水)	〃	本会議( 〃 )
14日(木)	午前10時	常任委員会
15日(金)	〃	〃
18日(月)	〃	〃
26日(火)	〃	本会議(最終日)

### ●会議録について

公開している全ての会議は「会議録」として記録していますので、この市議会だよりに掲載している内容の詳細をご確認いただけます。

会議録は、冊子として市議会事務局や中央図書館、市役所の市政情報コーナーに備えているほか、市議会ホームページにも掲載しています。

なお、会議録の作成には数カ月かかりますので、ご了承ください。

### ●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議録だけでなく、会議の開催日程や、議員の政務活動費などについても掲載しています。

また、現在3月定例会の本会議の様子を録画配信しています。

本会議場でのやりとりがご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。



川西市議会ホームページ



広報委員会			
委員長	福西 勝	副委員長	福西 康晴
委員	森本 猛史	委員	秋田 修一
	北野 紀子		津田 加代子
	平岡 譲		江見 輝男
	多久 和桂子		坂口 美佳

平成30年度は、10年間の第5次川西市総合計画における前期基本計画の5年間の終えて、後期基本計画の1年目となります。

さまざまな計画が着実に推進されるよう、市議会としてもチェック機能としての役割を果たしてまいります。

また開会中には新名神高速道路の川西IC・神戸JCT間が開通しました。今後は北部地域のまちづくりが注目されます。

平成30年度は、10年間の第5次川西市総合計画における前期基本計画の5年間の終えて、後期基本計画の1年目となります。

歳出では、主に子育て支援や教育環境を充実する政策に重点を置き、妊婦健康診査助成金の増額、病児保育事業の実施のほか、スクールソーシャルワーカーの配置や、留守家庭児童育成クラブの受け入れが拡充されます。

また開会中には新名神高速道路の川西IC・神戸JCT間が開通しました。今後は北部地域のまちづくりが注目されます。

平成30年第1回川西市議会(3月定例会)が2月16日(金)から3月26日(月)まで開催されました。

今議会は全会計合わせて総額1094億2446万円で編成され、平成30年度の予算審査も行われました。

編集後記